

発達性読み書き障害 臨床と研究の最前線 開催要項

1. 目的

発達性読み書き障害は発達障害の中で最も割合が多いと考えられています。しかしながら、北海道では発達性読み書き障害の評価方法や科学的根拠に基づく効果的な訓練方法が十分認知されていないのが現状です。本研修では、発達性読み書き障害に関する臨床及び研究の第一人者である宇野彰先生、後藤多可志先生にお越しいただき、基礎的な知見を概観した上で、効果のある合理的配慮、実際の配慮例、早期発見・対応システムと専門家教員の養成などに焦点を当ててご講演いただく予定です。

2. 主催 LD・Dyslexia 発達支援相談室 アイビー（代表 蔦森英史：北海道教育大学旭川校）

3. 後援 北海道特別支援教育学会、北海道教育委員会、旭川市教育委員会
北海道教育大学（予定）

4. 期日 2025 年 5 月 31 日（土） 受付・開場 13:45～

5. 参加費 3,000 円 （Peatix による事前申込制）

6. 会場

旭川市民文化会館 小ホール （旭川市 7 条通 9 丁目）

（備え付けの駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。）

開催要項

14:20-14:30 開会の挨拶・講師のご紹介

14:30-15:30 宇野 彰 先生 発達性ディスレクシアとは

15:30-15:40 休憩

15:40-16:40 後藤 多可志 先生 効果的な配慮および合理的配慮の実際

16:40-16:50 休憩

16:50-17:50 宇野 彰 先生 地方自治体単位で実施される早期発見・対応システム
専門的な教員養成・質問へのご回答

7. 応募方法 Peatix を使用して以下のリンクまたは QR コードからお申し込みください。

<https://lddxivyasahikawa.peatix.com>



対面参加は 200 名程度を上限としています。定員になり次第募集を締め切らせていただきます。
オンデマンドのみの視聴（3 日間限定）も可能です（こちらは資料を配布できません）。

連絡先：lddx.ivy20250228@gmail.com（*⇒@） 代表者 蔦森英史（北海道教育大学旭川校）

宇野 彰 先生

待望の旭川講演！

読み書きができないのはなぜか？

そうだったのか！



どのタイミングで支援開始したら良いのか？

筑波大学元教授。発達性ディスレクシア研究会元理事長。

NPO 法人 LD・Dyslexia センター理事長。医学博士。言語聴覚士。

著書：改訂版 標準読み書きスクリーニング検査-STRAW-R

ドラマ：『宙わたる教室』 監修

漫画：『ファンタジウム』 監修

『うちの子は字が書けない～発達性読み書き障害の息子がいます』監修

論文

Uno, A., Wydell, N.T., Haruhara, N., Kaneko, M., Shinya, N. (2009) Relationship between reading/writing skills and cognitive abilities among Japanese primary-school children: normal readers versus poor readers(dyslexics). *Reading and writing*, 22(7), 755-789.

著書・論文その他多数



後藤 多可志 先生

新進気鋭の研究者！

それが知ってたかった！

フォントの種類で読みやすくなるの？

合理的配慮はどうやって求められるの？

目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科

目白大学大学院 リハビリテーション学研究科 准教授（博士（心身障害学））。

発達性ディスレクシア研究会 副理事長、NPO 法人 LD・Dyslexia センター理事。言語聴覚士。

著書

後藤（2024）クリア言語聴覚療法 4「言語発達障害」（編著者），建帛社。

論文

高橋，後藤，春原（2024）発達性読み書き障害児群における立方体透視図の模写遂行について-文字の習得に
関与する認知機能や読み書きの到達度との関連-。言語聴覚研究，21(3)，196-205。

後藤，宇野，春原（2023）ユニバーサルデザインデジタル教科書体が発達性読み書き障害児群の音読の
正確性，流暢性および読解力に与える影響。音声言語医学，64(2)，105-115。

その他多数